

燦木会 100回を記念して

燦木会幹事 中川 彊 (つとむ)



7月で燦木会は100回目となるようです。8年と4ヶ月前に発足したことになります。皆さんの年齢を8つ程引いて頂くと始まった年齢が分かりますね。まだ若かったですか？ 私も今75歳ですので67歳の時でした。

飛距離も今と比べるとかなり飛んでいましたし、スコアも今より良く、今の年齢のエージシュートのスコアも簡単にだせていたものでした。この8年間でメンバーもかなり入れ替わりました。当初の燦木会の決まりごとを振り返って、

今一度確認して見たいと思います。

- 1) メンバーの資格を厳選すること。ひととなり重視すること。
- 2) ゴルフの腕前は問わないこと。
- 3) 清川のメンバーにこだわらずビジターも歓迎すること。
- 4) ティーグラウンドは各自好きなどころを使用して良いこと。
- 5) 競技は 新ペリアで順位を決めること。
- 6) 女性・年配者を敬い順位を決める場合は、女性、年上を上位とすること。
- 7) 会員相互の親睦を図るため、プレー終了後パーティーに参加し意見等述べ合うこと。
- 8) 政治色を帯びない会とすること。
- 9) マナー、エチケット、ルールを遵守し、ゴルフプレーに関しては、厳しく規則に則り、正しく行うこと。従ってノータッチ・ホールアウトとすること。



今しぶとくと言うか、有り難くメンバーとして残って頂いている方々は、以上の決まりごとを理解し実行して来られた方々です。つまり精鋭です。この良きメンバーで、これから先何年続けることが出来るでしょうか。何とか体に気をつけて、なるべく長く、燦木会で楽しいゴルフが出来ることが願っています。

燦木会 100回に学ぶ

燦木会幹事 鳥飼康子



私は10年程前に、会員の方々の熱意と努力により再建された、清川カントリークラブに入会し、数年後燦木会のお仲間に入れていただきました。

日々のラウンドで、快適で楽しかったゴルフは、やはりスコア云々というよりも、とてもマナーのいい方と御一緒出来たラウンドのほうが心に残っています。ゴルフは性格が出るゲームと言われますが、多くの方がその人間性に注目しているんですね。

お互いに楽しいゴルフをするために、ルール、マナーに厳しい燦木会で、鍛えていただき、「次回も是非一緒にラウンドしたい」と言っていただけのようなプレイヤーになりたいと思っています。



第1回燦木会懇親会 平成18年3月23日



第1回燦木会コンペ風景 18番ホール



燦木会100回記念号

Kiyokawa Sunmoku-Club 清川CC・燦木会 Vol-14 平成26年7月

燦木会 100回記念投稿「バームクーヘンの力」 燦木会会長 石井寅三郎



燦木会も早いもので創立より8年半経過致し、この7月100回を迎えることになりました。会員皆様の燦木会を愛する気持が、又清川cc皆様の変わらぬご支援により燦木会は更に200回に向けてスタート致しました。私は肘手術後のため残念ながら参加できません。先人からの教えは、宗教1000年、主義100年、会社50年、と伝えていますがこの燦木会も必ず歴史を語られる会として存続してゆく事でしょう。

近年怪我等に悩まされる私にとって大きな事が起こりました。人生において何でも無い一言が勇気を与え人の人生をも変えます。それは今年1月16日夜「鳥飼康子さん」から頂いたメールもその一つです。「今日は燦木会、良いお天気で優勝は山澤さん、2位は中川さん…、石井さん早く回復され戻って来て下さいね」。「石井さんに頂いた賞品のバームクーヘンを19人参加者全員で美味しく頂きました」と。私は咄嗟にあんな小さい円筒バームクーヘンをどうやって誰が切りきざんだのかな？ 不思議に思うと同時にどなたのご発想で、全員にて食べようとなったのか。会員皆様の優しい気持ちに痛く感激いたした事を忘れません。



実は偶然にも鳥飼さんからメールを頂いた1月16日昼過ぎ整形外科での宣告を受け心はブルー。右肘変形症が酷く手術をしても元には戻らないしゴルフなどは諦めて下さいと。既に数件の病院を訪ね今日が最後と決めていました。これでゴルフ、孫たちとのテニスも終わりだ。ところがそのメールで諦めていた心に灯がともされ、又多くの会員の激励にもう1回捜そうと約半年間痛み止め注射、投薬をしながら捜し、奇しくも6月19日(第99回燦木会開催日)東邦大学病院を捜しあて7月初旬入院が決まりました。

人口関節では強度的に弱くゴルフ再開のためには内視鏡手術で骨を削りだし約3.5時間で終わる予定と言われお願いいたしました。何事にも諦めない事を燦木会の皆様に教えられました。常識として76歳の老人があたかも40歳と同じ事はもうおやめなさいが医者の本音のようでした。

嬉しさと恐怖心が同居していますが又皆様とお会いできる事が何よりの楽しみです。

第100回記念大会に寄せて

燦木会会員 川上敏夫



100回記念大会を会員の皆様と共に楽しくプレーすることができ嬉しく思います。ありがとうございました。37歳から始めたゴルフ、43年の歳月が過ぎ80歳になりました。

ゴルフは生涯スポーツと云われ、老若男女が同じフィールドで楽しくプレー出来るスポーツです。独自の巧みな技があり、個性豊かなスイングがありますが、より楽しくプレーするためのポイントが飛距離だと思います。実現できたら強力な武器になります。プロアマを問わず共通の望みはいかに飛ばすか。飛ばすことが自己満足にもつながります。

またゴルフの奥深さは、どんな名手でも朝には自信にあふれ、夕には自信を失わしめると嘆くほどです。私もその日がいかに楽しくとも、なかなか満足しない。幾つかのミスについて悔しがり反省しぼやき、コースを後にしています。

これからも同伴プレーの足を引っ張らない様心掛け、飛距離に拘りゴルフを楽しみたいと思います。さあ次は150回記念大会を目指そう！！ 私健康に留意しながら頑張ります。